




様式第9号 (第5条関係)

20年10月9日

南相馬市議会議長

会派名 反和会
代表者氏名 平田 武 

調査研究報告書

- 1 期間 20年10月2日(火) ~ 20年10月9日(水)
- 2 参加者 ① 平田 武 ② 伊川 庄一
③ 田中 一正 ④ 今村 裕
⑤ 山田 雅彦 ⑥ 細田 広
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容について

研修先 衆議院会館 918会議室

研究事項 海中捜査 商工業の賠償 JR常磐線 常磐道の4車線化 森林除染

- ① 東日本大震災の海中遺体捜査について 10月2日 13:30~14:10
海上保安庁 警備教難部救難課長 東城 英雄より説明
震災後における各地区の海中潜水捜索について
岩手、宮城、福島（浪江 請戸）にて、行方不明者の潜水捜索を実施し1123件の内407人を発見している。震災から7年8ヶ月経過している本市の状況ではあるが 今後も要請あれば対処する旨の報告をうけた。
- ② 東日本大震災における商工業への賠償について
経済産業省 原種力損害対応総合調査官 松浦 哲哉より説明
2015年3月以降 将来に向けて2倍の支払いを持って、打ち止めの東電の対応に批判の声を受け 国として、東電に対して各企業に相談の上対処するように指導したい。あまりにも東電の態度の変化に苦言をていしていた。議員から請求書の簡素化について、風評被害は続いている旨を申し入れた。
- ③ JR常磐線について
国土交通省鉄道局長 蒲生 篤実より説明
常磐線の全線開通については、31年度中の見通しであるとの説明を受けて
仙台までの直通を スウパ=日立の再考 浪江の水素関連事業 ロボットテスト
フィールド、原発の廃炉を考慮したならば、高速化は国の責任にて取り組むように依頼すると同時に物流を鉄道にての意見をしてきた。
- ④ 常磐道の4車線化について
国土交通省 道路局長 池田 豊人より説明、
いわき、仙台54、5キロ その内 当地方は13、5キロ 付加車線として
2020年まで整備をする。その後については土地の取得とあわせ整備する方向と
のこと。小高のスマ=とインタ=の御礼と、今後一日も早く着手されるようお願いをしてきた
- ⑤ 森林除染について
環境庁 資源循環局 環境再生事業担当参事官 新田 晃より説明
空間線量のみにて 年間0.23を目指してきている。いま里山の試験除染も
実施している。キノコ類は毎年放射能上がっている状況 野鳥 イノシシも同様
屋敷から20mの除染では、帰還困難との声を届けた。

10月3日 9:30 国土交通事務次官 森 昌文 9:40 国土交通審議官
由木文彦 9:40 国土交通大臣 石井 啓一 外 吉野 正芳、若松 謙維、山口 那津男
大田 昭宏、森 まさ子の各事務所にJR常磐線の復旧と輸送力の強化 常磐自動車
道路及び幹線道路、小高スマ=トインタ=について 要望活動を展開してきたので
別紙を添えて報告いたします。